



第4回 五ヶ瀬川水系流域委員会

日時:平成16年12月14日(火)

場所:延岡河川国道事務所

3階 会議室

議事次第

1. 第3回流域委員会議事の確認
2. 委員長挨拶
3. 分科会議事内容説明
4. 質疑応答
5. 第5回流域委員会開催について

1.第3回流域委員会議事の確認

2.委員長挨拶

3.分科会議事内容説明

第3回委員会後の経緯

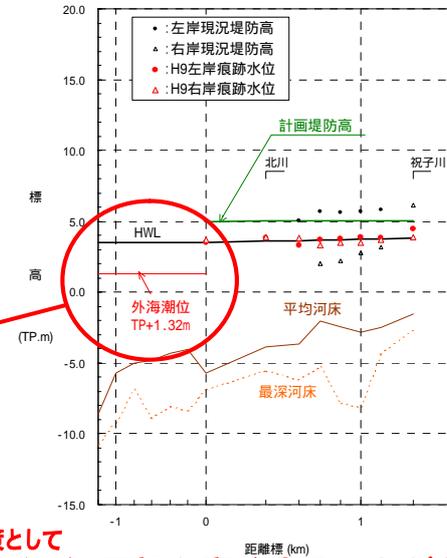
平成16年 8月 2日 第3回 五ヶ瀬川水系流域委員会



- ・ 8月24日(火) 環境分科会 (現地視察)
- ・ 8月25日(水) 利活用分科会 (現地視察)
- ・ 9月17日(金) 治水分科会 (現地視察)
- ・ 10月22日(金) 治水分科会
- ・ 11月15日(月) 環境分科会
- ・ 11月19日(金) 利活用分科会

平成16年12月14日 第4回 五ヶ瀬川水系流域委員会

五ヶ瀬川河口部 (-0/6 ~ 0/0)



北川合流後の川幅が狭い為、水位が上昇

対策として

河口部を広くすることが考えられます。

五ヶ瀬川河口部 (-0/6 ~ 0/0)



治水分科会

・河口を開削する方法で問題ないが、水位低減効果を方財地区の住民の方々に理解していただく必要がある。

環境分科会

・基本的に河口は広いほうが良い。

利活用分科会

・北川合流点での川幅に比べて、河口の川幅が非常に狭いので広げることが必要。



鷺島地区(五ヶ瀬川0/6~1/2右岸)



鷺島地区(五ヶ瀬川0/6~1/2右岸)

畑の様子

干満

治水分科会

- もし堤防を造るとしても、優先順位は最後のほうになる。

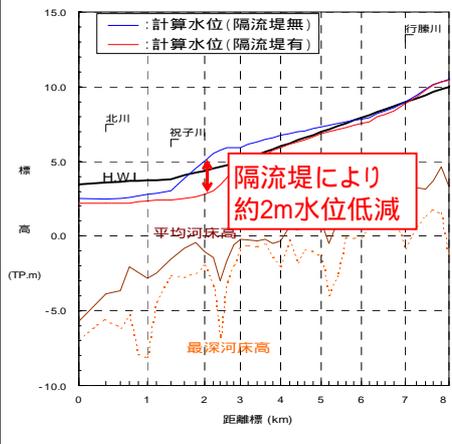
環境分科会

- ほとんど手を入れずに環境教育に利用できる整備をしてはどうか。
- アカメは汽水域に生息する種である。
- ハマボウの群生地にもなっていることから出来れば残して欲しい。

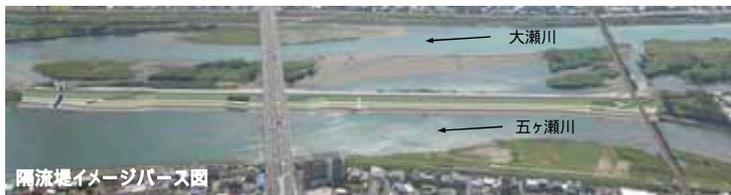
利活用分科会

- 良好な自然の中で農業体験等河川と一体的な自然学習の場にはできないのではないか。
- 体験学習の出来る場として整備してほしい。例えば、裏の畑で取れた作物を料理し食するイベント等への利用をしてはどうか。
- 菜園を管理し、週末に貸し出すといった形態をとってみることも考えられる。
- 堤防が必要かどうかは、今後の延岡市の街づくりの中でも考えていく必要がある。

隔流部(2/0 ~ 2/8)



夕刊デイリー
平成16年3月30日



隔流部(2/0 ~ 2/8)

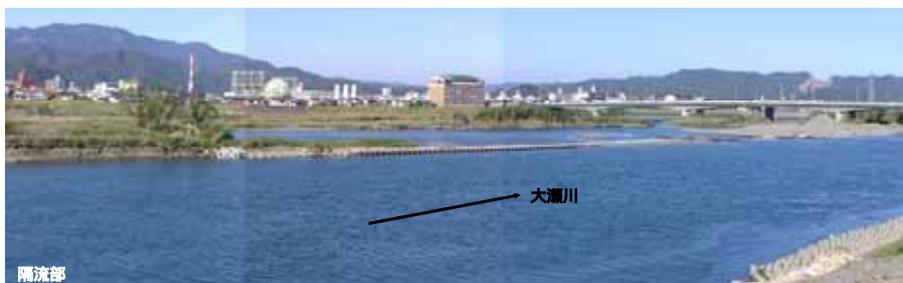


治水分科会

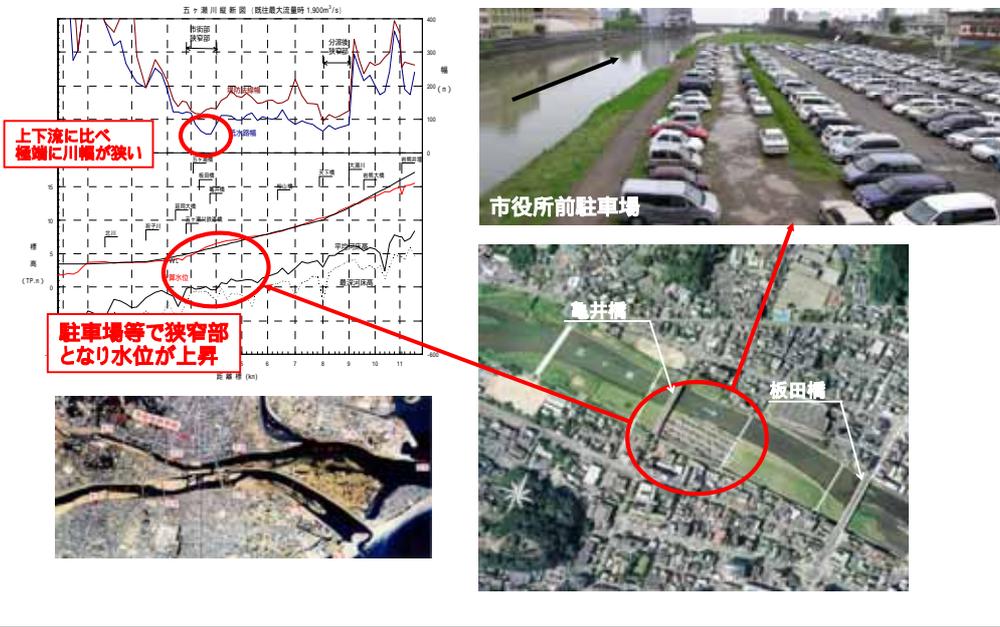
- ・隔流堤については、治水上最も重要であるため、最大限の努力をお願いしたい。
- ・これまで最終調整がうまくいかなかったというのは鮎の遊上に関係しているのか。
- ・隔流堤が完成し、計画流量が流れると大瀬川の河口は開くのか。

環境分科会

- ・隔流堤を締め切った場合の影響についても考えることが必要ではないか。



延岡市役所前(五ヶ瀬川 3/4 ~ 4/0)



延岡市役所前(五ヶ瀬川 3/4 ~ 4/0)



治水分科会

- ・社会的影響を考えると高水敷掘削が一番良い方法ではないか。
- ・サッカー場の代替となる場所は考えておく必要がある。

環境分科会

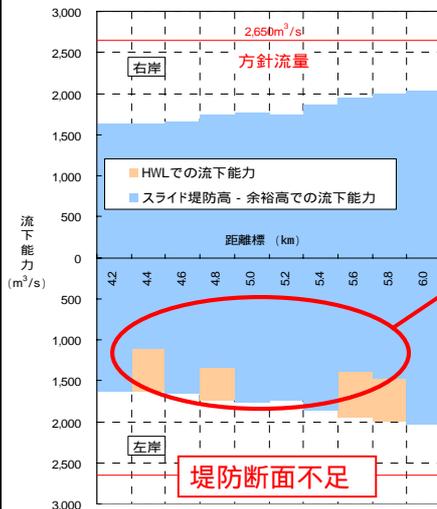
- ・川の中には、ゴルフ場や駐車場は本来必要ないのではないか。

利活用分科会

- ・駐車場として利用しているが、バス等公共交通機関を利用したらどうか。




岡富・古川地区(五ヶ瀬川 4/4~6/0左岸)



岡富・古川地区(五ヶ瀬川 4/4~6/0左岸)



治水分科会

- ・この区間の改修方法は引堤、嵩上げを行うのが最も妥当と考えられる。
- ・但し、植生を復元するために何か措置が必要ではないか、春までに工事を完了し、表土をまく等の対策を講ずることが必要だろう。

環境分科会

- ・この地区に繁茂している湿地性の植物は小規模なワンドを作ることによって保全することが可能である。
- ・低水路の掘削を行う場合は、小規模なワンドを設け植生の保全を図ってほしい。

利活用分科会

- ・利活用の面から高水敷へうまく出入りできるようにしてほしい。

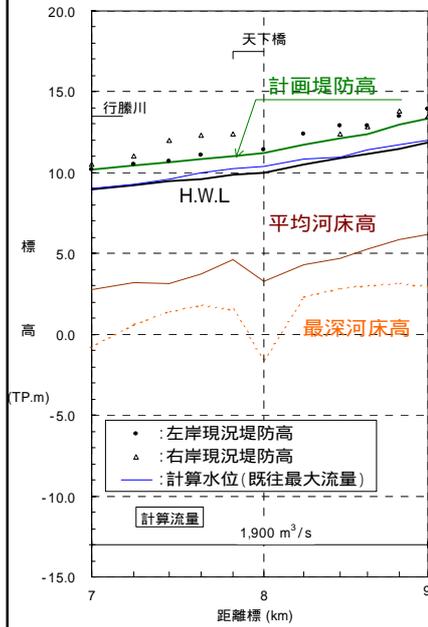
野田地区(五ヶ瀬川 7/0 ~ 7/6)

環境分科会

- ・五ヶ瀬川では河畔林が少ないので、松山橋上流の河畔林については残せるのであれば残して欲しい。
- ・河道に余裕があるのならば、河畔林を人工的に復元して欲しい。



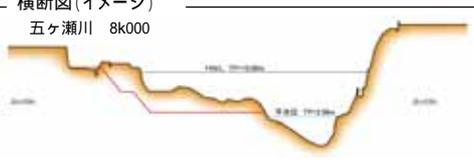
天下地区(五ヶ瀬川 7/8 ~ 8/2)



湾曲、狭窄部の為水位が上昇

天下地区(五ヶ瀬川 7/8 ~ 8/2)

横断面(イメージ)
五ヶ瀬川 8k000



治水分科会

この区間については、平水以上の掘削が最も良いと考えられる。但し、ここで河床を下げ過ぎるとそこで土砂の堆積が起こりやすくなるので、低水路を下げ過ぎないようにすることが必要。



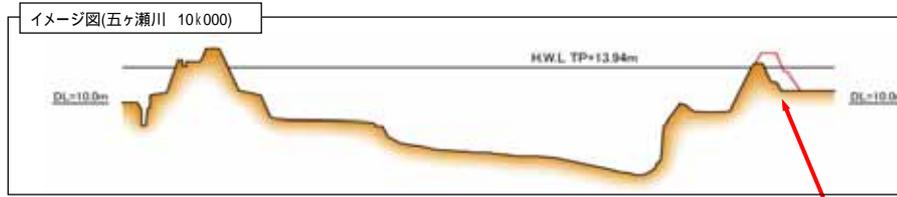
五ヶ瀬川・大瀬川分派点



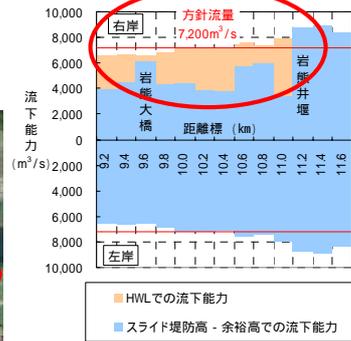
五ヶ瀬川・大瀬川分派点



三輪地区(五ヶ瀬川 9/0~11/0右岸)



堤防断面不足



三輪地区(五ヶ瀬川 9/0~11/0右岸)



治水分科会

・堤防の質的強化にあたる区間になる。



台風16号により漏水した付近



岩熊大橋上流右岸側の堤防

岩熊井堰 (五ヶ瀬川11/090)



環境分科会

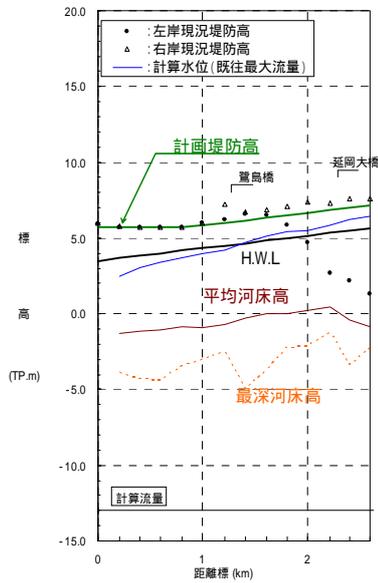
・魚道を改良し、魚の遡上効果を上げて欲しい。

利活用分科会

・自然の多いキャンプ場として利用したい。
・岩熊井堰を改築して水の流れを作れば、ロデオというカヌーの競技を行うことが可能。



延岡大橋～河口(大瀬川0/0～2/4)



河道内の砂州、樹木等により水位が上昇

延岡大橋～河口(大瀬川0/0～2/4)



治水分科会

- ・砂州部の掘削を行う場合、出来るだけ環境に配慮した掘削にしたい。

環境分科会

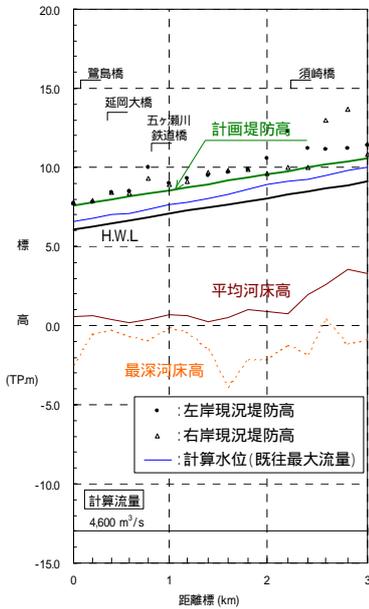
- ・大瀬川河口が閉じてしまうと、水質の悪化により、アユの生態に影響が出る。
- ・潮流の関係で河口が開まりやすいため、導流堤が消波ブロックを設置して欲しい。
- ・大瀬川鷺島橋上流を掘削が実施されているが、出水後に土砂が堆積し、堰上げされているように感じる。

利活用分科会

- ・潮流が早く遊泳禁止になっているが、何らかの利用が出来ないか、
- ・隔流堤をつくって自然に任せるのが一番良い。



延岡市街部(大瀬川3/6~5/2右岸)



高水敷利用
により河積不足
となっている。



延岡市街部(大瀬川3/6~5/2右岸)

改修方法：高水敷をなくし、河積を確保します。

治水分科会

- ・高水敷の盤下げを行った場合の利活用への影響は、冠水頻度がどの程度になるのかという点にある。
- ・高水敷の盤下げした時の水の流れの変化を確認して欲しい。
- ・治水上は高水敷の盤下げが良いと思うが、河畔林については残す必要があると考えられる。
- ・買収せずに高水敷を盤下げすることは可能か。
- ・高水敷を盤下げする場合、現在の所有者に反対する権利はないのか。

環境分科会

- ・川の中にはゴルフ場や、駐車場は本来必要ないのではないか。
- ・河畔林は残せるだけ残してほしい。
- ・古城地区は兼漁区になっているが、掘削して流速が落ちると河床が変化し、生態に影響が出るのではないか。
- ・三須地区では陸上部の掘削を行っているが、出水時の流速が変わり(速くなる)影響が出ている。

利活用分科会

- ・多目的広場としての利用、又は市役所前のサッカー場やその他の高水敷利用の代替地として利用してはどうか。



安賀多地区 (大瀬川 3/0 ~ 3/4)



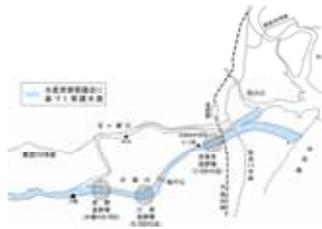
安賀多産卵場



旭化成取水口



旭化成工業用水
許可水利権
最大 5.0m³/s



大瀬川と五ヶ瀬川の一部が水産資源保護法に指定
年間約17t程度の漁獲高
アユやなには毎年5万人の観光客で賑わう
環境省「かおり風景100選」に選定

安賀多地区 (大瀬川 3/0 ~ 3/4)



治水分科会

- ・砂州部の改修方法は掘削でよいが、植生については復元する必要がある。
- ・旭化成取水口を移動できないか。

環境分科会

- ・仮締切により、出水後に隔流堤下流に土砂が堆積し河床が上昇することで、近年安賀多産卵場に影響が出ている。

利活用分科会

- ・大瀬川の河口が開くと、潮が上がりやすくなるため取水口への影響が気になる。

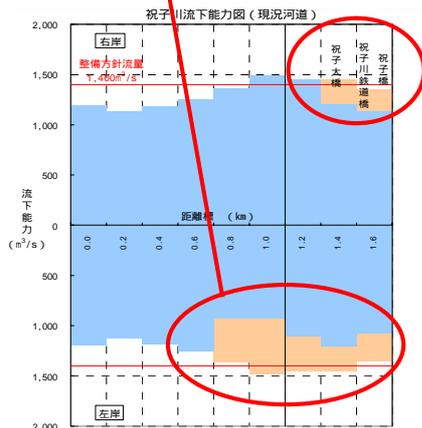


安賀多の瀬



旭化成取水口

祝子川地区 (祝子川 0/6 ~ 1/6左岸, 1/4 ~ 1/6右岸)



祝子川地区 (祝子川 0/6 ~ 1/6左岸, 1/4 ~ 1/6右岸)



治水分科会

・この区域に対する改修方法は、堤防の質的強化で問題ない。



祝子大橋下流左岸堤防

友内川



環境分科会

・友内川のフラッシュ事業のコアマモ・アカメへの影響についても検証が必要と思われる。



コアマモ

出展:「川の生物図典」山海堂



アカメ



友内川水門



アカメ

出展:「日本の淡水魚」山と溪谷社

その他全般

環境分科会

- ・瀬淵が形成されるような掘削形状にして欲しい。単調な川底になるとオイカワ、カワムツだけになってしまう。
- ・魚類（鮎に限らない）の産卵場の把握等、現状の生態の整理を事前にして欲しい。
- ・流域全体としての考え方（治水・環境・利活用）についても、今後議論する必要があるのではないか。

利活用分科会

- ・整備計画には自然を残す、水遊びの出来るような場所を残す、という文句を一言入れて欲しい。

5.第5回流域委員会開催について